

## 地域懇談会意見まとめ（岩船小学校区）

### 1 事前アンケートより

現状	強み
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動の担い手や、住民同士の触れ合いが少なくなっていることに不安を感じている人が多い</li> <li>福祉への関心が低い人の理由として、身近にそういう人がいない、自分が何をすればいいかわからない、という回答が多い</li> <li>情報提供・活動先の紹介があればボランティア活動が行いやすいという回答が多い</li> <li>安心して暮らせる地域には、災害時や治安など地域の安全・安心が重要だと考えている人が多い</li> <li>様々な状況の人が働ける場の整備等、社会参加の場に関することへの満足度が低い</li> <li>助け合い活動への積極性が見られる一方、「人間関係がわずらわしい」という回答割合も多い</li> <li>忙しくて時間が取れないこと、健康に自信がないことが地域活動への参加の支障となっている</li> <li>友人・知人、隣近所など、周囲の人に相談したり手助けを求めている人の割合が減っている</li> <li>福祉に関心があるが、何をすればいいかわからないという人が多い</li> <li>ボランティア活動をしたことがある人は3割程度で、活動に関する情報提供を多くの人が望んでいる</li> <li>犯罪をした人の立ち直りへの協力したいと思う人が少ない理由として、接し方がわからないという人が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートでは9割以上の方が居住地区を暮らしやすいと感じており、住み続ける予定という人も8割以上いる</li> <li>町内会や自治会へ加入している人の割合が高く、近所づきあいや地域活動への意識が高い</li> <li>福祉に関心がある人の割合が高く、特に高齢者・認知症・病氣療養中の人に関する福祉への関心が高い</li> <li>参加や手助けができると思う活動では、日常生活の協力・防災・教育や子育ての割合が高い</li> <li>子どもの登下校の見守り等、安心して暮らせる地域に関する項目への満足度が高い</li> <li>市街地にもかかわらず、近所づきあい・助け合いの意識が強い</li> <li>子どもに関するボランティア活動・助け合い活動の経験がある人、関心がある人が多い</li> <li>地域の行事やまちの清掃活動といった地域での交流に関する満足度が比較的高い</li> <li>成年後見制度や再犯防止に関する制度等の認知度が上がっており、啓発活動の効果がみられる</li> <li>福祉に関心がない人でも、居住地域での地域美化活動や災害・防災対策には参加できると答えている人が一定数いる</li> </ul>

### 2 あったら良いな・できたらいいな

「あったら良いな・できたらいいな」としていただいた意見の内容を整理しました。

<b>地域のつながりと見守り</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シニア世代のデジタル化・AIの使い方教えて欲しい</li> <li>パソコン（スマホ）教室も日数を増やす、場所を増やして欲しい</li> <li>学び直しの場合</li> <li>清掃イベント（子供参加型）</li> <li>交通量の急激な増加、事故がおきる前に信号のない所の見守り体制→信号？見守り隊を増やす。登ろく制保障などを充実させる</li> <li>子供主体の祭り開催</li> <li>大学生になっても手伝ってくれる</li> <li>大人は見守り</li> <li>ダメではなくて、どうしたらやれるか方法を考える</li> </ul>
<b>地域のつながりと困りごとを抱える人</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども食堂のPR</li> <li>匿名、秘匿性のある相談先（民生委員さんをもっと利用）</li> <li>つながりを深める、コミュニケーションの場（それを維持するスタッフ確保）</li> <li>アナログな接触（ネットやメール アプリではなく直接的なもの）</li> <li>ちいさな図書館が寺区にはないので寺会館にも欲しい→集まり、交流できる</li> <li>9校区内で地域参加に積極的</li> <li>住みやすさ</li> <li>QRコードの使用率高</li> <li>3地区に別れているのが特徴</li> <li>交野高、関西創価が校区内にある</li> <li>月1、2回食事させてもらっても貧困のかけつにはならない</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員が居る、話を聞いてくれる人がいる、という事の周知</li> </ul>
地域のつながりと安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアしたらポイントに。</li> <li>「つながり」をつくる。→「イベント」だが、やる人が限られてきて...</li> <li>・健康教室</li> <li>・地震・災害時の高齢者</li> <li>・冷蔵庫に「安心キット」(筒) →ある過程は玄関に。一復活させる。</li> <li>・「声かけ」の場。</li> <li>・時間のある人ができる役割「外に出たら元気になる」</li> <li>・井戸端会議ができるベンチを道に。</li> </ul>
地域で育ち地域を愛する(郷土愛)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の良さを若い人・転入してきた人に知ってもらうイベント</li> <li>・安心して声かけができたらいいな</li> <li>・欲しい情報が、手元に届くといいな</li> <li>・交野市検定</li> <li>・相談窓口のような役割となるもの(アプリ、地域掲示板)が欲しい</li> <li>・福祉避難所(1/1の地震をうけて)</li> <li>・岩小校区ならではのイベント(栗を利用、イベント、収穫物を活用)</li> <li>・地の利を活かした(自然)活動、とりくみ</li> <li>・新たに新築されている住宅地の方々と既存の方々の交流、その為のスペース確保</li> <li>・下校見守りの参加増えたら</li> <li>・仕事、子育てに追われ、「協力したい」気持ちあっても参加できないジレンマ。</li> <li>・いろいろ参加したいが、年令的にしんどくも。問題が出てくる。思ったようにできなくなってくる。</li> <li>→世代交代。知らないところには行けないし。</li> <li>・立ち当番の人から放れてあそぶ子ども。危なく注意。夏場はシルバー者の体調心配</li> <li>・高齢、小学校の親だけでなく枠が広がれば</li> <li>・ボラの後継者 シルバー、ボラの役割分担、さらに参加者広げるには</li> <li>・子ども食堂、考えたが難しい・・・→高齢者しせつでやっているところも。</li> <li>・移動販売車。</li> <li>・生活上のものはそろっている。(スーパー、医療、学校)</li> <li>・子供(学童)の行ける所。(サロンのな?)昔はキャンプ等あった。ママが頑張るのでなく、まわりで支えれば。(週1回とか)</li> <li>・放か後フリースペース週1回(家に帰らずそのまま)→回数を増やす予定。</li> <li>・史跡をまとめて、子供達が回る→継続と参加者の課題。 →他の地域ではスタンプラリーや、工場見学をしたりしている</li> <li>・竹から→メンマ</li> <li>・会館で、お茶、昔遊びをしている。</li> <li>・関心のない親子に届いたら良いのか。</li> <li>・森では、子供主体のおまつりが無い</li> <li>・夏休みに子供達が自分で自分のお昼をつくる</li> <li>・中学校のPTA×(なくなった) 若手の育成</li> <li>若手に地域に目を向けてもらう</li> <li>・教育現場で福祉の学びを取り入れてもらいたい。→先生にお願いするのではなく、場をかりる→4年生手話の実績→例)参観の時に出席講座※ただし負担のない範囲</li> </ul>
地域に住む人・働く人の強みを活かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッピーライフで書道の子供に教える。</li> <li>・フリースペースは、年代を問わない、何をしてもいい!!(味噌作り)</li> <li>・高齢の1人暮らし多く、要望の集約する場(窓口)をつくってボランティアで助け合う。</li> <li>・特異なことをどうやってひろい上げる。</li> <li>・公民館に人がいない 市は人件費を出してくれないか?</li> <li>→市をあてにすると、厳しくなると思う</li> <li>・自治会のもよおしが周知されていない、どうやったら、知ってもらえる?近いから×、遠い方が○</li> <li>・上の世代の遊びが上手で、子供にとっても新鮮!!</li> </ul>

### 3 これからできそうなこと

「あったら良いな・できたらいいな」の意見を踏まえ、自分たちが「これからできそうなこと」としていただいた意見の内容を整理しました。

<p>地域のつながりと見守り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンより手軽なスマホやタブレットの使い方教室を増やす</li> <li>・子供達と一緒に、スマホの危険性などを教えてもらえる場</li> <li>・スマホのよろず相談</li> <li>・フリースペースを使いやすくする</li> <li>・子供も大人も一緒に楽しめるイベント機会</li> </ul>
<p>地域のつながりと困りごとを抱える人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードパントリー</li> <li>・地区への移動販売（各地区公民館などへ来てもらう）</li> </ul>
<p>地域のつながりと安全・安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアのしくみ。</li> <li>・SNSの利用、QRコードの登録、多様、感心もてるよう。</li> <li>・啓発の出発はイベント。若い人向けのイベントも。</li> <li>・生活コーディネーター（地域包括）の活用。出前講座で「地域のむすびつき」</li> <li>・体操教室の待ち親に声かけ。</li> <li>・道端にベンチ（許可必要）</li> <li>・福祉施設とのコラボ。どこと合体？</li> <li>・イベント時の保育があれば、若い親も参加できる。</li> </ul>
<p>地域で育ち地域を愛する（郷土愛）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・告知の方法を工夫する、交野市の公式ラインの活用</li> <li>・ライン・インスタの使い方がわかる→情報が入ってくるようになる</li> <li>・回らん板のオンライン化</li> <li>・見守りしてもらっているお礼に、スマホ教室を若い世代がする</li> <li>・安心してあいさつ声かけOKな地域にする</li> <li>・各地区（てら、森、天野が原…）では意見、活動あるが、「校区」としての活動は？</li> <li>・3地区の祭りを合同で、岩小グラウンドを使って</li> <li>・男の料理・イベント</li> <li>・防災</li> <li>・宿泊体験</li> <li>・（ひなん生活体験）・校区全体で！！</li> <li>・世代交代、バトンタッチの機会、方法、システムの構築</li> <li>・地域包括一拠点づくりを利用。</li> <li>・森の生協1Fのスペースを利用。</li> <li>・つくった野菜を使って交流、田畑多い、消費の機会で交流。</li> <li>・危険マップつくる→立てる。</li> <li>・「まちプラス」貸しスペース</li> <li>・寺、月2回（土）おしゃべりサロン→機会増やして、各地域ができれば、不要な食器を寄付してもらって。30~40人。パン、おいしいコーヒー。</li> <li>・障がい者にも振れる仕事を、交流</li> <li>・地域の資源はあるが、人の資源の情報が少ない。技術を持っているはうもれている。</li> <li>例) ○○さいは○○ができる</li> <li>・となり近所の情報から地道に集めるしかないのでは？</li> <li>・メンマ作りはもう倉庫まで用意している</li> </ul>
<p>地域に住む人・働く人の強みを活かす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森地区は掲示板が少ない！人の集まる所（公園など）にもっとつくったら情報発信できるのでは？</li> <li>・学校での配布は？→制限があるが、各校長の判断による所もある。</li> <li>・小児科病院（整形外科）に掲示してもらったら？</li> <li>・本人ではなく、家族さんにでも見てもらえば「親にどうかな？」と思ってもらえる。</li> <li>・公共交通機関で掲示してもらったら？</li> </ul>